

いわき市の公共施設等の「どうする?」「どうなる?」をお伝えする



発行 2022年6月22日(水)
いわき市施設マネジメント課
☎22-7408 内線2422~2424

ぷらラボ ニュース 第4号

施設の数と老朽化

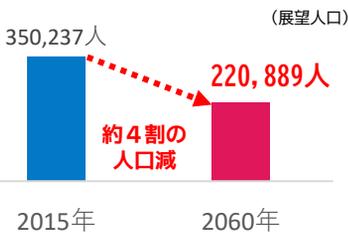
人口あたりの
施設量が
極めて多い
(62中核市中7番目)

施設全体の
約4割が
概ね築40年
以上経過
(旧耐震基準)

急ぎ対策が必要な公共施設等が
あまりにも多すぎる

建築時期の
集中により
劣化が一気に
顕在化

事後保全型の
維持管理で
(相当の不具合が生じてから対応)
劣化・損傷が
大きく進行



(中期財政計画における財政調整基金年度末残高の見通し)



人口減少と財政見通し

施設の維持に必要なお金

(改修等将来コストの見通し)



施設がある
だけで毎年度
70億円の
維持管理費
がさらに必要

今ある施設のすべてを
安心・安全に
利用できる状態に
維持することは
事実上不可能

なぜ今「公共施設等マネジメント」が必要なのか



シナリオ①
安全第一

施設は健全だが…他のサービス水準が著しく低下

改修・改築には、億単位のお金がかかることも。その分、福祉や生涯学習や産業振興などができなくなり、まちの活力や魅力、機能がどんどん低下します。



シナリオ②
サービス優先

施設の多くが「廃墟」に…重大事故の危険性急上昇

サービス・機能の範囲や対象を広げるばかりで、建物にお金をかけないと、ほとんどの施設が「廃墟」に。生命や生活を脅かす事故につながりかねません。



シナリオ③
現状維持

施設もサービスも…先細りで共倒れ・全部なくなる

施設の維持に必要なお金が全然足りない中、現状維持や今以上を求めるのは不可能です。財政が破綻すれば今以上の負担が市民の皆さんにのしかかります。

どのシナリオも望ましくない

公共施設等の数量・規模が、市の財政の身の丈に合わなければ、施設すべてを安全・安心に利用できる状態に保ち続けることは困難です。身体や生命が危険に晒される可能性もあります。

一方で、予算は有限です。施設を優先すれば、その分だけ、様々な行政サービス・機能を大幅に縮小・制限する必要が生じ、暮らしやすさやまちの魅力は大きく低下していきます。

必ずしも、施設の数=暮らしやすい・便利、ではないはずです。何十年にもわたって続く「これまでどおり」を「当たり前」とするのではなく、抜本的に見直す必要があるのです。

手遅れになる前に…

**今こそ一緒に
考えましょう!**

2022年7月下旬頃 次号発行予定!